

気になる前兆、
意外な病気にご用心!

頭部の症状



山口内科院長
山口 泰

頭が痛い

頭痛は身近な症状、
原因はさまざま

頭は外側から、表面の皮膚、
皮下の筋肉、そして頭蓋骨があ
り、その内側に脳があります。

頭痛が起こると、誰しも脳に
異変が起こっているのではと心
配するようですが、これらのど
こに問題があっても頭痛は起こ
りません。

例えば、頭の皮膚が「帯状
疱疹で神経痛を起こした」場合
や、肩こりからくる筋肉痛の一
種である「緊張性頭痛」、「頭蓋

骨の骨折や顎関節症」など骨
の異常による頭痛もあります。
また、「副鼻腔炎（蓄膿症）」
でも、鼻の横あたりから目の奥
まぶたの上などに痛みを感じま
す。

受診する際は、痛みがいつか
ら始まって、頭のどの部分がど
う痛むのかなど、詳しく医師に
伝えてください。

危険な頭痛を 見極めることが大切

頭痛の中で最も多い緊張性頭
痛は、姿勢を正す工夫のほか、
ストレッチ、マッサージ、湿布
などで改善します。頭がズキズ

キ痛む「片頭痛」はつらいもの
です。薬を上手に使い、発作中
は暗い静かな部屋で横になって
休みましょう。

危険なのは、脳の中の異変で
す。今までに経験したことのない
ような強い頭痛が突然起こっ
たときは急を要します。嘔吐を
伴ったり、意識障害や体のまひ
などの症状を伴う場合は、「く
も膜下出血」、「脳出血」が疑わ
れますので、救急車を呼んでく
ださい。

また、痛みは軽くても、手足
のまひ、物が二重に見えるなど
の神経症状を伴う場合は「脳腫
瘍」が疑われます。早めにCT
（コンピュータ断層撮影）な
どの精密検査を受けることです。
頭痛に発熱や吐き気、項部硬
直（首を前に曲げようとすると
と抵抗がある）が見られたら、
「髄膜炎」も疑われます。早め
に受診しましょう。

めまい、立ちくらみが怖い

長引く、ほかの症状がある
場合は、早めに受診

起立している人間の脳は心臓

より上にあり、ほかの動物より
血液が流れにくい状況にありま
す。

これをカバーするため、血管
を取り巻く神経や筋肉によって
脳の血圧が維持され、末端の脳
細胞まで栄養や酸素が行き届く
ようになっています。

しかし、このシステムに狂い
が生じ、循環不全になると、目
の前が真っ暗になってフーンと
気が遠くなります。立ち上がった
らクラクラしてしゃがみ込んで
しまふ、失神してしまふなど
の症状も起こります。

循環不全によるめまいは、①
ポンプである心臓の不具合、②
血管の血圧調節をしている自律
神経の失調、③流れる血液自体
が減少する「貧血」などが原因
です。

心臓の不具合では、重症の
「不整脈」や、心拍数が減る
「房室ブロック」、「心筋梗塞」
などがあります。これらは緊急
かつ適切な治療が不可欠です。

自律神経の失調では、「起立
性低血圧」「入浴中のほせ」「食
事、排尿・排便に伴う副交感神
経の働き過ぎ」などがよく知ら